

シラバス対応表（口腔生命福祉学科 3 年次）

ユニット名	講義番号	授業科目	単位	ユニット コーディネーター	頁
社会福祉原論Ⅰ	250DA301	社会福祉原論Ⅰ	2	神子島 旬子	52
早期援助技術演習	250DA302	社会福祉現場実習指導Ⅰ	2	神子島 旬子	53
社会保障入門	250DA303	社会保障論	2	大内 章嗣	54
	250DA304	公的扶助論	2		
児童福祉総論	250DA305	児童福祉論Ⅰ	2	米澤 大輔	56
	250DA306	社会福祉援助技術論Ⅰ	2		
歯科衛生学実習Ⅱ	250DA307	歯科衛生学実習Ⅱ	3	米澤 大輔	58
臨床実習Ⅰ	250DA308	歯科衛生士 臨床実習Ⅰ	2	柴田 佐都子	61
歯科診療補助Ⅱ 歯科診療補助Ⅲ	250DA309	歯科診療補助Ⅱ	4	吉羽 永子	63
臨床歯科学Ⅱ	250DA310	臨床歯科学Ⅱ	1	濃野 要	66
臨床歯科学Ⅲ	250DA311	臨床歯科学Ⅲ	1	濃野 要	67
障害者福祉総論	250DA312	障害者福祉論Ⅰ	2	黒川 孝一	68
	250DA313	社会福祉援助技術論Ⅱ	2		
高齢者福祉総論	250DA314	高齢者福祉論Ⅰ	4	神子島 旬子	70
	250DA315	社会福祉援助技術演習Ⅰ	4		
高齢者・障害者歯科学	250DA316	高齢者・障害者歯科学	2	米澤 大輔	72
歯科衛生学実習Ⅲ	250DA317	歯科衛生学実習Ⅲ	2	小田島 あゆ子	75
地域福祉論	250DA318	地域福祉論	2	中村 健	77
権利擁護と成年後見	250DA319	権利擁護と成年後見	1	大内 章嗣	78
臨床実習Ⅱ	250DA320	歯科衛生士 臨床実習Ⅱ	2	柴田 佐都子	79
社会福祉現場実習Ⅰ	250DA321	社会福祉現場実習Ⅰ	2	中村 健	81
社会調査法（編入生のみ）	250DA212	社会調査法	2	葭原 明弘	39

口腔生命福祉学科 3年次 時間割表 第1学期

〈第1学期〉

曜限 月日		月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日																											
		1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限																							
4月	1-4	春期休業															入学式							3年次ガイダンス																									
	7-11	春期休業							歯科衛生学実習Ⅱ			早期援助技術演習					社会福祉原論	歯科衛生学実習Ⅱ		月曜↓	早期援助技術演習																												
	14-18	臨床歯科学Ⅱ		歯科診療補助Ⅱ			歯科衛生学実習Ⅱ																																										
	21-25																																																
5月	4/28-2	臨床歯科学Ⅱ		歯科診療補助Ⅱ			昭和の日					地域福祉論		社会福祉原論		火曜↓			歯科診療補助Ⅱ			臨床実習Ⅰ	社会福祉原論																										
	5-9	こどもの日					振替休日							歯科診療補助Ⅱ			社会福祉原論		歯科衛生学実習Ⅱ																														
	12-16	臨床歯科学Ⅱ		歯科診療補助Ⅱ				歯科衛生学実習Ⅱ			地域福祉論		社会保障入門			技術早期援助演習			歯科衛生学実習Ⅱ																														
	19-23					歯科衛生学実習Ⅱ																																											
	26-30	臨床実習Ⅰ								臨床実習Ⅰ																																							
	6月	2-6	臨床歯科学Ⅱ												歯科衛生学実習Ⅱ						早期援助技術演習		社会保障入門			児童福祉総論		歯科衛生学実習Ⅱ			臨床実習Ⅰ			社会保障入門															
9-13																																																	
16-20		臨床歯科学Ⅱ																																															
23-27																																																	
7月	6/30-4	臨床歯科学Ⅱ					歯科衛生学実習Ⅱ			早期援助技術演習		児童福祉総論		児童福祉総論		歯科衛生学実習Ⅱ			臨床実習Ⅰ			児童福祉総論																											
	7-11																																																
	14-18	臨床歯科学Ⅱ																地域福祉論						児童福祉総論																									
	21-25																																																
8月	7/28-1	夏期休業(7月19日～8月31日)																																															
	4-29																																																
9月	1-5			歯科診療補助Ⅱ			地域福祉論		学歯実習Ⅱ			地域福祉論		技術早期援助演習			児童福祉総論		学歯実習Ⅱ			臨床実習Ⅰ		児童福祉総論																									
	8-12	臨床歯科学Ⅱ						児童福祉総論		学歯実習Ⅱ					技術早期援助演習			児童福祉総論		学歯実習Ⅱ																													
	15-19	敬老の日							歯科診療補助Ⅱ			定期試験																																					
	22-26	定期試験					秋分の日																																										
	29-30						定期試験																																										

口腔生命福祉学科 3年次 時間割表 第2学期

〈第2学期〉

曜限 月日		月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日																																
		1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限																												
10月	1-3																																																					
	6-10	Ⅱ 実臨 習床		臨床歯 科学Ⅲ			障害者福祉総論					歯科診療補助Ⅲ					歯科衛生学実習Ⅲ					障害者福 祉総論		月曜↓	高齢者・障害者歯科学		障害者福祉総論																											
	13-17	スポーツの日																											歯科衛生学実習Ⅲ																									
	20-24	Ⅱ 臨床実習		歯科衛生学実習Ⅲ																		障害者福祉総論								高齢者福祉総論																								
	27-31			臨床歯科学Ⅲ																													月曜↓																					
11月	3-7	文化の日																				高齢者・障害者歯科学							臨床実習Ⅱ					障害者福祉総論					高齢者・障害者歯科学		障害者福祉Ⅰ		現場実											
	10-14	Ⅱ 臨床実習		歯科衛生学実習Ⅲ			高齢者・障害者歯科学		障害者福祉Ⅰ																																													
	17-21			臨床歯科学Ⅲ																																																		
	24-28	振替休日					高齢者福祉総論					歯科衛生学実習Ⅲ					臨床実習Ⅱ										高齢者福祉総論																											
12月	1-5	臨床実習Ⅱ		臨床歯科学Ⅲ																		高齢者福祉総論										権利擁護と成年後見					障害者・高齢者・歯科学					臨床実習Ⅱ					高齢者福祉総論							
	8-12																																																					
	15-19																																																					
	22-26			臨床歯科学Ⅲ																																																		
1月	12/29-2	冬期休業(12月27日～1月6日)																																																				
	5-9											権利擁護				月曜↓	臨床実習Ⅱ					高齢者福祉総論		月曜↓	歯科診療補助Ⅲ		高齢者福祉総論																											
	12-16	成人の日					高齢者福祉総論					権利擁護										歯科衛生学実習Ⅲ																																
	19-23	臨床実習Ⅱ		臨床歯科学Ⅲ																																																		
	26-30																																																					
2月	2-6			臨床歯科学Ⅲ																																																		
	9-13											建国記念日																																										
	16-20	定期試験																																																				
	23-27	天皇誕生日					前期入試休講																																															
3月	2-6	予備日																																																				
	9-13	予備日										春期休業(3月11日～3月31日)																																										

3 口腔生命福祉学科
年 次

口腔生命福祉学科 3年次（編入） 時間割表 第1学期

〈第1学期〉

曜限 月日		月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日							
		1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限			
4月	1-4	春期休業															入学式							3年次ガイダンス					
	7-11	春期休業					心理	グローバル理解					早期援助技術演習				社会福祉原論	医序				早期援助技術演習							
	14-18		社会調査法				心理									医序													
	21-25						心理									医序			月曜↓										
4/28-2							昭和の日			地域福祉論	社会福祉原論	火曜↓						統計										社会福祉原論	
5月	5-9	こどもの日					振替休日					心理	グローバル				社会福祉原論	医序											
	12-16		社会調査法				心理	グローバル理解					地域福祉論	社会保障入門		技術早期援助演習	医序								社会保障入門				
	19-23						心理								医序														
	26-30						心理								医序														
	6月	2-6							心理											医序									
9-13							心理												医序										
16-20						心理								医序															
23-27						心理								医序															
7月	6/30-4					心理									医序														
	7-11					心理								児童福祉総論	医序									児童福祉総論					
	14-18					心理				地域福祉論			医序																
	21-25						心理		夏期休業(7月19日～8月31日)										医序										
8月	7/28-1					心理																	医序						
	4-29																												
9月	1-5		社会調査法				地域福祉論					地域福祉論	技術早期援助演習		児童福祉総論									児童福祉総論					
	8-12						児童福祉総論																						
	15-19	敬老の日					補講日					定期試験																	
	22-26	定期試験					秋分の日																						
	29-30						定期試験																						

口腔生命福祉学科 3年次（編入） 時間割表 第2学期

〈第2学期〉

曜限 月日		月曜日					火曜日					水曜日					木曜日					金曜日					
		1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	1限	2限	3限	4限	5限	
10月	1-3																		障害者福祉総論		高齢者・障害者歯科学	障害者福祉総論					
	6-10				医序		障害者福祉総論	現代社会論										月曜↓									
	13-17	スポーツの日																医序									
	20-24				医序																						
	27-31				医序																			月曜↓			
11月	3-7	文化の日					障害者福祉総論	現代社会論																医序		障害者福祉 習1 現場実	
	10-14				医序																	高齢者・障害者歯科学					
	17-21				医序																						
	24-28	振替休日							高齢者福祉総論																		
12月	1-5				医序																						
	8-12				医序																						
	15-19				医序																						
	22-26				医序																						
1月	12/29-2	冬期休業(12月27日～1月6日)																									
	5-9																										
	12-16	成人の日																									
	19-23	共通テスト休講																									
	26-30				医序																						
2月	2-6				医序																						
	9-13											建国記念日															
	16-20	定期試験																									
	23-27	天皇誕生日					前期入試休講																				
3月	2-6	予備日																									
	9-13	予備日										春期休業(3月11日～3月31日)															

3年次 口腔生命福祉学科

科 目 名：社会福祉原論Ⅰ

担当教員名(所属)：神子島 旬子、大内 章嗣、中村 健

開 講 番 号：250DA301

開 講 学 期：第1学期

水 準：13

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

「社会福祉」の形成過程を理解し、システムとしての社会福祉を構成する政策・制度・援助活動の関連を把握することにより、社会福祉の各分野の学習に必要な基礎概念を習得する。

【科目のねらい】

現代社会における福祉制度の意義や理念、および福祉の原理をめぐる理論と哲学を理解する。その上で、福祉政策におけるニーズ、資源、課題、構成要素、関連政策、相談援助活動との関係を体系的に学修し、児童福祉、障害者福祉、高齢者福祉、地域福祉などの各領域を学ぶ基礎を身に付ける。

【学習の到達目標】

- ・現代社会における福祉制度の意義、理念、福祉政策との関係を例示的に説明する。
- ・社会福祉の形成過程におけるトピックを挙げて、それらが現在の社会福祉にどのような影響を与えているか例示的に説明する。
- ・福祉政策の課題を列挙する。
- ・福祉政策の構成要素および福祉政策と関連する社会政策を列挙し、例示的に説明する。
- ・社会福祉における相談援助の機能について、福祉政策・制度との関連のなかで例示的に説明する。

【授業の実施形態について】

資料等を用いて講義を行う。なお、主に想起レベルの知識の習得を目標にしているため、授業の間に学習した内容に関するレポートを課すなどの手段を用いて、学習の到達状況を学生にフィードバックしていく。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/10(木) 1-2限	福祉政策と社会問題(神子島)	どのような事象が「社会問題」とされているのか、その項目と理由を口頭で説明できるよう準備する。
2	4/17(木) 1-2限	ニーズと資源(神子島)	“need”と“demand”の違いを口頭で説明できるよう準備する。
3	4/24(木) 1-2限	近代社会と福祉(神子島)	「近代」と「近代以前」とは、何によって区分されるかを口頭で説明できるよう準備する。
4	4/25(金) 3-4限	現代社会と福祉(神子島)	社会福祉との関連において、現代社会の重要な社会問題とは何かを口頭で説明できるよう準備する。
5	4/30(水) 3限 4限	福祉政策の現代的課題(中村) 関連政策①(神子島)	社会福祉に関連する「社会政策」には具体的に何があるのかを、口頭で説明できるよう準備する。
6	5/2(金) 3-4限	供給過程と利用過程(神子島)	社会福祉の理念が実現されるためには、政策や制度の他に何が必要であるのか、口頭で説明できるよう準備する。
7	5/8(木) 1限 2限	関連政策②(神子島) 福祉政策の国際動向(大内)	「福祉レジーム」論に用いられる「自由主義」、「社会民主主義」、「保守主義」とは何に価値をおく考え方なのか、口頭で説明できるよう準備する。
8	5/9(金) 3限 4限	社会福祉の理論(神子島) 筆記試験(神子島)	第7回までの講義内容の復習。

【成績評価の方法と基準】

筆記試験(50%)、レポート(50%)で評価する。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

科 目 名：社会福祉現場実習指導Ⅰ

担当教員名（所属）：神子島 旬子、米澤 大輔、中村 健

開 講 番 号：250DA302

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

相談援助機関等の役割、機能および相談援助の実践について、見学などを通して体験的に学習する。また、専門職に必要な相談援助の理論と方法を学習し、社会福祉現場に必要な知識を身に着ける。

※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

相談援助実践の場の見学などを通じて、利用者等のニーズと生活課題および援助実践に必要な態度・知識・技能について理解を深める。また、相談援助活動に必須の基本的な態度と相談援助の目的、価値、原則を体系的に理解する。

【学習の到達目標】

- ・相談援助の専門機関などの機能・役割を例示的に説明する。
- ・相談援助専門職が配置されている機関などについて、その概要を施策体系にそって説明する。
- ・援助対象者の理解について、ニーズと生活課題にそって例示的に説明する。
- ・相談援助の目的、価値、原則について、要点を列挙する。

【授業の実施形態について】

本ユニットは、見学実習、体験発表、講義、演習など多様な形態の授業をととして、社会福祉の現場に必要な知識および技能を学習する。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	4/9（水）1-2限 3-4限	オリエンテーション（神子島） 見学実習先概要講義（神子島）	
2	4/11（金）1-4限	見学実習：特別養護老人ホーム（米澤）	特別養護老人ホームに関する基礎概念を整理。
3	4/16（水）1-4限	見学実習：社会福祉協議会（中村）	市町村社会福祉協議会に関する基礎概念を整理。
4	4/18（金）1-4限	見学実習：児童相談所（神子島）	児童相談所、障害者更生相談所、女性相談支援センターおよび女性自立支援施設に関する基礎概念を整理。
5	4/23（水）1-4限	見学実習：障害者交流センター（神子島）	身体障害者福祉センターA型に関する基礎概念を整理。
6	5/15（木）1-2限	見学実習のディスカッション・発表（神子島）	見学実習を経験しての理解の深まりを言語化し、発表できる準備。
7	5/22（木）1-2限	ソーシャルワークの成立と展開1（神子島）	社会福祉原論の講義内容の復習。
8	6/4（水）1-2限	ソーシャルワークの成立と展開2（神子島）	社会福祉原論の講義内容の復習。
9	6/11（水）1-2限	ソーシャルワークのプロセス1（神子島）	「ソーシャルワークの成立と展開」の復習。
10	6/18（水）1-2限	ソーシャルワークのプロセス2（神子島）	「ソーシャルワークの成立と展開」の復習。
11	6/25（水）1-2限	ソーシャルワークの実践モデル1（神子島）	「ソーシャルワークのプロセス」の復習。
12	7/2（水）1-2限	ソーシャルワークの実践モデル2（神子島）	「ソーシャルワークのプロセス」の復習。
13	7/9（水）1-2限	ソーシャルワークにおける面接技術1（神子島）	「ソーシャルワークのプロセス」「ソーシャルワークの実践モデル」の復習。
14	9/3（水）3-4限	ソーシャルワークにおける面接技術2（神子島）	「ソーシャルワークのプロセス」「ソーシャルワークの実践モデル」の復習。
15	9/10（水）3限 4限	ソーシャルワークの理論（神子島） 筆記試験（神子島）	第7回から第14回までの講義の復習。

【成績評価の方法と基準】

レポートおよび発表（50%）、筆記試験（50%）で評価する。

【使用テキスト】

特定の教科書は使用しない。

【参考文献】

参考文献については授業のなかで適時紹介する。

科 目 名：社会保障入門（社会保障論／公的扶助論）

担当教員名（所属）：大内 章嗣、黒川 孝一、中村 健

開 講 番 号：250DA303／250DA304 開 講 学 期：第1学期 水 準：14

単 位 数：2単位/2単位 対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

〔社会保障論〕社会保障の理念・意義・発達史・体系等について理解するとともに、我が国の社会保障を構成する各制度の目的・対象・具体的内容等について学習する。

社会保険、社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉の現場で実践できる内容の授業を行う。

〔公的扶助論〕日本国憲法第25条が保証するナショナルミニマムを確保するための基本制度である生活保護制度を中心とした我が国の公的補助について学習する。

社会保険、社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉の現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

〔社会保障論〕人々の健康・生活・幸福を支援する専門職として必要となる、現代社会における社会保障の理念・意義、体系および発達史について理解するとともに、我が国の社会保障の各制度の目的・対象・具体的内容および実施体制等について、社会保険制度（年金、医療、雇用、労災、介護）を中心に習熟する。

〔公的扶助論〕生活困窮者に対する支援の実際を修得するため、生活保護制度を中心とした公的扶助の理念・意義およびその仕組み、近年の動向について理解するとともに、生活保護及び関連分野の組織・専門職及びその連携のあり方について理解する。

【学習の到達目標】

〔社会保障論〕

- ・社会保障の概念・範囲および発達史（日本および諸外国）について概説できる。
- ・社会保障制度の機能と体系について概説できる。

〔公的扶助論〕

- ・公的扶助の概念・範囲および発達史について概説できる。
- ・児童手当、児童扶養手当等の社会手当の内容等について概説できる。
- ・生活困窮者自立支援等の低所得者対策の内容等について概説できる。
- ・生活保護制度の目的、基本原理、保護の原則について概説できる。
- ・生活保護の種類と内容、生活保護基準および財源について概説できる。
- ・保護の実施機関と実施体制および関連分野の専門職等との連携のあり方を概説できる。
- ・被保護者の権利及び義務について概説できる。
- ・生活保護の実際について事例に基づいて考察できる。
- ・社会保障を構成する各制度（年金、医療保障、介護保険、労働保険、社会手当、公的扶助、社会福祉、その他関連制度）の概要について説明できる。
- ・我が国の年金制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・我が国の医療保険制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・我が国の介護保険制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・我が国の労働保険制度の目的、対象、実施体制、具体的給付内容および財源について概説できる。
- ・我が国の民間保険の概要と公的施策との関連について概説できる。
- ・我が国の社会保障の課題と動向について概説できる。

【授業の実施形態について】

講義およびグループワーク、小グループによるPBL学習を組み合わせ学習する。

【登録のための条件（注意）】

近年、社会保障関係制度は大幅な改正が頻繁に行われているので、厚生労働省HP等、できるだけ最新の情報源から学習するよう心掛けること。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	5/14（水）3-4限	オリエンテーション 講義：社会保障全体像（歴史・概念・体系）について（大内）	事前：平成29年厚生労働白書 第1部第1章p4～37を読み、要点を整理しておく。事後：我が国における社会保障の変遷を整理する。
2	5/16（金）3-4限	講義：公的扶助・社会福祉制度（社会手当、公的扶助、社会福祉、その他）の目的・内容等の概要（中村）	事前：生活保護および各種手当制度（児童手当等）について調べ、要点を整理しておく。事後：各手当制度の目的・対象・内容・財源について整理する。

3	5/21 (水)	3-4 限	講義：社会保険制度（年金、医療、雇用、労災、介護）の目的・内容等の概要（大内）	事前：年金保険、医療保険、介護保険制度の概要について調べ、要点を整理しておく。事後：各社会保険制度の対象（被保険者）および実施体制を整理する。
4	5/23 (金)	3-4 限	講義：我が国の医療保障・介護保険・労働保険について（黒川）	事前：医療保険を構成する各保険者の違い（被保険者、根拠法、運営主体）について整理しておく。事後：医療保険・介護保険・労働保険（雇用、労災）の保険者、対象（被保険者）、主な給付内容について整理する。
5	5/28 (水)	3-4 限	講義：我が国の年金制度について（大内）	事前：国民年金と厚生年金の対象（被保険者）、給付内容について調べ、違いを整理しておく。事後：国民年金と厚生年金の給付内容の違いについて、老齢、障害、遺族年金毎に整理する。
6	5/30 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 1（年金）提示（FC） グループ学習	事前：第 4 回の講義内容を復習、整理しておく。事後：設定した学習課題について各自調べ、疑問点等を整理する。
7	6/4 (水)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 1（年金）グループディスカッション（FC） 講義：民間保険等との関係・社会保障の実施体制について（大内）	事前：設定した学習課題について各自調べ、発表できるよう整理しておく。事後：社会保障の機能、実施体制、社会保険と民間保険の違いについて整理する。
8	6/6 (金)	3-4 限	グループワーク：我が国の社会保障の課題と動向（大内）	事前：これまでの講義・学習内容を復習、整理しておく。事後：グループ毎に指定された課題について各自調べる。
9	6/11 (水)	3-4 限	講義：公的扶助について（中村）	事前：生活保護制度について調べ、要点を整理しておく。事後：生活保護および生活困窮者自立支援の理念・目的、対象および主な内容について整理する。
10	6/13 (金)	3-4 限	グループワーク・発表：我が国の社会保障の課題と動向（大内、中村）	事前：第 8 回の授業で指定された課題について、発表用スライドを作成し、発表の準備をしておく。事後：他グループの発表内容について整理する。
11	6/18 (水)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 2（公的扶助 1）提示（FC） グループ学習	事前：生活保護の保護決定に至る手続について調べ、要点をまとめておく。事後：設定した学習課題について各自調べ、疑問点等を整理する。
12	6/20 (金)	3-4 限	PBL：シナリオ 2（公的扶助 1）グループ学習	事前：自主学習で生じてきた疑問点等について追加学習・整理しておく。事後：ディスカッションに向け、学習内容を整理する。
13	6/25 (水)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 2（公的扶助 1）グループディスカッション（FC） シナリオ 3（公的扶助 2）提示（FC）	事前：設定した学習課題について発表できるよう整理しておく。生活困窮者自立支援の内容について整理しておく。事後：設定した学習課題について各自調べ、疑問点等を整理する。
14	6/27 (金)	3-4 限	PBL：シナリオ 3（公的扶助 2）グループ学習	事前：自主学習で生じてきた疑問点等について追加学習・整理しておく。事後：ディスカッションに向け、学習内容を整理する。
15	7/2 (水)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 3（公的扶助 2）グループディスカッション（FC） PBL：シナリオ 2・3 の学習成果まとめ	事前：設定した学習課題について発表できるよう整理しておく。事後：シナリオ 2・3 の学習成果を全体発表できるよう整理する。
16	7/4 (金)	3-4 限	PBL：シナリオ 2・3 の学習成果発表・講師とのディスカッション・補足講義（中村、大内）	事前：シナリオ 2・3 の学習成果の発表準備をしておく。事後：他グループの発表内容について整理するとともに、全体の学習内容を復習する。

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（選択式および記述式）（90％）を基本に、学習態度（10％）を加味して総合評価する。合格基準の詳細は第 1 回の授業時に説明する。

なお、PBL学習に関し、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

【使用テキスト】

指定しない。必要に応じて資料等を配布する。

【参考文献】

厚生労働統計協会 編「国民の福祉と介護の動向」厚生労働統計協会（2,400円）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編「社会保障」中央法規出版（3,190円）

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編「貧困に対する支援」中央法規出版（2,750円）

【参考Webサイト】

厚生労働省監修「厚生労働白書」 https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/

科 目 名：児童福祉総論（児童福祉論Ⅰ／社会福祉援助技術論Ⅰ）

担当教員名（所属）：米澤 大輔、神子島 旬子、藤田 智子（非）

開 講 番 号：250DA305／250DA306 **開 講 学 期：**第1学期 **水 準：**14

単 位 数：2単位/2単位 **対 象 学 部 等：**歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

〔児童福祉論Ⅰ〕 児童福祉の歴史と理念、現代社会と児童、児童家庭の実態、児童福祉に関する法、児童家庭福祉施策と実施体制、児童に対する相談援助活動の実践について学習する。

〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

ソーシャルワークの概念と定義を学び「総合的かつ包括的な相談援助」の理論と実際について学習する。

※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

〔児童福祉論Ⅰ〕

現代社会における児童福祉の理念と意義について理解するとともに、児童福祉を取り巻く社会の変化と少子化社会における施策の動向・背景について理解する。また、児童福祉に関する法とサービス体系について理解し、児童福祉および関連分野の専門職との連携の実践について認識する。

〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

児童家庭福祉における福祉援助活動の展開過程を通して、児童に対する相談援助活動の実践について理解する。

【学習の到達目標】

〔児童福祉論Ⅰ〕

- ・児童福祉理念の変遷、児童の定義、児童の権利について説明できる。
- ・児童福祉の歴史について説明できる。
- ・母子保健、保育対策について説明できる。
- ・児童の発達、成長について家族、社会の脈絡の中で概説できる。
- ・児童家庭の福祉需要（子育て、子ども虐待及びDV等）とその把握方法について説明できる。
- ・児童福祉に関する法の体系とその具体的内容、関連法規について概説できる。
- ・児童に対する保健・医療・福祉サービスの体系と連携について説明できる。
- ・次世代育成支援対策について説明できる。
- ・市町村における児童家庭福祉相談について説明できる。
- ・地域における子育て支援、青少年育成支援について説明できる。
- ・児童虐待、DV、要保護児童の自立支援について説明できる。

〔社会福祉援助技術論Ⅰ〕

- ・児童家庭福祉相談におけるインテーク、アセスメント、社会調査の概要について説明できる。
- ・児童家庭福祉相談の援助過程について説明できる。
- ・児童家庭福祉相談における組織・専門職の役割と連携の実践について概説できる。

【授業の実施形態について】

- ・小グループによるPBL学習及び講義、演習を組み合わせ学習する。
- ・PBL学習の効果を高めるために併用する講義、演習では一部事前あるいは事後のレポート提出を求める。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	5/29（木）1限 2限	授業ガイダンス（米澤） PBL：シナリオ1提示（市町村における児童家庭相談）（FC）	2年次または3年次に行った児童福祉施設見学実習の復習市町村における児童福祉の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
2	6/5（木）1限 2限	講義：児童福祉の歴史と理念の変遷（神子島） 講義：現代社会と児童家庭福祉（神子島）	2年次または3年次に行った児童福祉施設見学実習の復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
3	6/12（木）1限 2限	PBL：シナリオ1グループ学習 講義：地域における子育て支援と保育所の役割（藤田）	市町村における児童福祉の復習PBL課題に対する十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目

4	6/19 (木)	1 限 2 限	PBL：シナリオ 1 グループ討議 (FC) PBL：シナリオ 2 提示 (子育て支援と手当) (FC)	第 2 回の講義内容の復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
5	6/26 (木)	1-2 限	PBL：シナリオ 2 グループ学習	子育て支援と手当の要点整理PBL課題に対する十分な事後学習を行うこと。
6	7/3 (木)	1 限 2 限	PBL：シナリオ 2 グループ討議 (FC) PBL：シナリオ 1・2 まとめ (米澤)	子育て支援と手当の復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
7	7/9 (水)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 1・2 発表とまとめセミナー (米澤) 講義：地域母子保健活動と児童福祉 (米澤)	発表の準備授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
8	7/10 (木)	1 限 2 限	講義演習：児童福祉の法 (神子島) PBL：シナリオ 3 提示 (非行) (FC)	母子保健と児童福祉の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
9	7/11 (金)	3 限 4 限	講義・演習 (児童福祉専門職と機関連携 1 非行) (未定) 講義・演習 (児童福祉専門職と機関連携 2 虐待・DV) (未定)	児童相談所の概要復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
10	7/16 (水)	3-4 限	PBL：シナリオ 3 グループ学習	非行について要点整理PBL課題に対する十分な事後学習を行うこと。
11	7/17 (木)	1 限 2 限	PBL：シナリオ 3 グループ討議 (FC) PBL：シナリオ 4 提示 (子ども虐待) (FC)	第10回の講義内容の復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
12	7/18 (金)	3-4 限	PBL：シナリオ 4 グループ学習	子ども虐待の要点整理PBL課題に対する十分な事後学習を行うこと。
13	9/4 (木)	1 限 2 限	PBL：シナリオ 4 グループ討議 (FC) PBL：シナリオ 3・4 まとめ (米澤)	子ども虐待について復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
14	9/5 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 3・4 発表とまとめセミナー (米澤) PBL：シナリオ 5 提示 (少子化対策と次世代育成支援) (FC)	発表準備授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
15	9/9 (火)	1-2 限	PBL：シナリオ 5 グループ学習	次世代育成支援について要点整理PBL課題に対する十分な事後学習を行うこと。
16	9/11 (木)	1 限 2 限	PBL：シナリオ 5 グループ討議 (FC) 総括：これからの児童家庭福祉の課題 (米澤)	児童家庭福祉の概要復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目
17	9/12 (金)	3-4 限	講義：社会的養護と里親制度 (石橋)	児童福祉施設の概要整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。実務経験のある教員による授業科目

【成績評価の方法と基準】

筆記試験による総括的評価 (選択式および記述式) を行う (100%)。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

中央法規 編「最新 社会福祉士養成講座 3 児童・家庭福祉 (第 2 版)」(2,970円)

高橋 重宏・他著「子ども家庭福祉とソーシャルワーク (第 3 版)」有斐閣 (2,420円)

厚生労働統計協会 編「国民の福祉と介護の動向 2023/2024」(2,640円)

社会福祉新聞、日刊紙 等

【参考Webサイト】

厚生労働省監修「厚生労働白書」 https://www.mhlw.go.jp/toukei_hakusho/hakusho/

科 目 名：歯科衛生学実習Ⅱ

担当教員名(所属)：米澤 大輔、葭原 明弘、多部田 康一、小川 祐司、野中 由香莉、柴田 佐都子、諏訪間 加奈、小田島 あゆ子、松本 明日香、杉田 典子、佐藤 圭祐、小林 彩加(病)、長谷川 葉奈(病)

開 講 番 号：250DA307

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：3単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

保健指導計画(個別指導、集団指導)や歯科衛生計画の作成を通し、学外での集団指導の実践および歯科衛生課程について学ぶ。また、予防処置(歯石除去)について、講義や実習を通して総合的に学習する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

対象者別の歯科保健指導計画と歯科衛生課程を通して、集団指導や個別指導における対象者に適した指導方法を理解し、対象者のニーズにあった支援を提供するために、論理的に思考し、問題を解決する知識・技術を習得する。予防的歯石除去に必要な基礎知識ならびに技術、態度、具体的処置について理解し、個別や集団など対象者別に予防処置を計画する。

【学習の到達目標】**＜歯科保健指導＞**

- ・集団指導を行う場合、対象者を把握して指導内容、会場設営、使用媒体などを計画し、適切な手法で実施することができる。
- ・対象者の状態に配慮して歯科保健指導の計画を立て、適切なコミュニケーション方法で歯科保健指導を行うことができる。
- ・歯科衛生士業務記録や指導内容から、患者の問題点、今後の指導方針について説明することができる。

＜歯科衛生過程＞

- ・歯科衛生過程の概念・構成要素を説明することができる。
- ・事例から、対象者の情報を抽出・分類・整理し、問題を明確化し、優先順位をつけることができる。
- ・事例を用いて歯科衛生計画の一連の流れ(目標設定、歯科衛生介入、評価)を実施することができる。

＜歯科予防処置(歯石除去)＞

- ・超音波スケーラー、エアースケーラーの特徴を把握し、歯肉縁上歯石を除去できる。
- ・ルートプレーニングを模型において実施することができる。
- ・PMTCを実施することができる。
- ・歯周病に関する検査(歯周疾患の指標、歯周ポケット測定、歯の動揺度測定、歯肉出血度、付着歯肉幅等)を実施することができる。

【授業の実施形態について】

- ・基礎実習、相互実習、グループ討議等を行う。実習の具体的な手技は事前に配布する資料に従い、実習前に各自で学習しておくこと。
- ・2年生で学んだ歯科の知識をもとに、対象者に即した歯科保健指導計画を立て実施する。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
＜歯科保健指導・歯科衛生課程＞			
1	4/10(木) 3-4限	ライフステージごとの歯科保健指導(米澤)	ライフステージごとの歯科保健指導の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
2	4/15(火) 1-2限	集団指導内容(米澤・諏訪間)	集団指導内容について要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
3	4/17(木) 3-4限	集団指導計画1(対象者把握の注意点)(諏訪間・松本)	対象者把握の注意点について要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
4	4/22(火) 1-2限	集団指導対象者把握(松本・米澤)	集団指導対象者把握について要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
5	4/24(木) 3-4限	集団指導計画2(松本・米澤)	集団指導計画について概要整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。

6	5/8 (木)	3-4 限	集団指導計画 3 (松本・米澤)	集団指導計画について概要整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
7	5/15 (木)	3-4 限	集団指導計画 4 (諏訪間)	集団指導計画の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
8	5/20 (火)	1-2 限	集団指導計画 5 (松本・米澤・諏訪間)	集団指導計画の復習授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
9	5/29 (木)	3-4 限	集団指導リハーサル 1 (米澤・柴田・諏訪間・小田島・松本)	発表準備授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
10	6/5 (木)	3-4 限	集団指導リハーサル 2 (米澤・葭原・諏訪間・松本)	発表準備授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
11	6/10 (火)	1-2 限	集団指導 (幼稚園本番) (米澤・諏訪間・松本)	集団指導 (幼稚園本番) の発表準備授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
12	6/12 (木)	3-4 限	歯科衛生課程導入 1 (小田島・諏訪間)	歯科衛生課程導入 1 の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
13	6/19 (木)	3-4 限	歯科衛生課程 2 (松本・諏訪間)	歯科衛生課程導入 2 の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
14	6/26 (木)	3-4 限	歯科衛生課程 3 (松本・柴田)	歯科衛生課程導入 3 の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
15	7/3 (木)	3-4 限	歯科衛生課程 4 (米澤・小田島)	歯科衛生課程導入 4 の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
16	7/10 (木)	3-4 限	歯科衛生課程 5 (米澤・柴田)	歯科衛生課程導入 5 の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
17	7/17 (木)	3-4 限	WHOが提唱する簡易型禁煙支援 (小川)	WHOが提唱する簡易型禁煙支援の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
18	9/4 (木)	3-4 限	後期臨床実習のための実習 1 (米澤・柴田・松本・小林)	後期臨床実習のための実習の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
19	9/11 (木)	3-4 限	後期臨床実習のための実習 2 (米澤・諏訪間・小田島・長谷川)	後期臨床実習のための実習の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
〈予防処置 (歯石除去)〉				
20	4/8 (火)	3-4 限	実習オリエンテーション 講義: 歯周治療の概要、歯周疾患の検査 (米澤・杉田)	歯周治療の概要、歯周疾患の検査の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
21	4/15 (火)	3-4 限	細菌性プラークと炎症、咬合性因子と咬合調整、TBL課題提示と説明 (多部田・野中)	細菌性プラークと炎症、咬合性因子と咬合調整の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
22	4/22 (火)	3-4 限	歯周疾患と関連する全身疾患、薬物療法 (野中・杉田)	歯周疾患と関連する全身疾患、薬物療法の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
23	5/13 (火)	3-4 限	歯周疾患の指標・検査 (基礎実習) (野中)	歯周疾患の指標・検査 (基礎実習) の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
24	5/20 (火)	3-4 限	エックス線写真読影 (講義・基礎実習) (野中)	エックス線写真読影 (講義・基礎実習) の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
25	5/27 (火)	3-4 限	歯周疾患の指標・検査 (相互実習) (野中・柴田)	歯周疾患の指標・検査 (相互実習) の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
26	6/3 (火)	3-4 限	相互実習: スケーリング (佐藤・諏訪間)	スケーリングの要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。

27	6/10 (火)	3-4 限	相互実習：口腔清掃指導、PMTC (佐藤・米澤)	スケーリングの要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
28	6/17 (火)	3-4 限	スケーリング・ルートプレーニング (基礎実習・小試験) (杉田・小田島)	スケーリング・ルートプレーニングの要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
29	6/24 (火)	3-4 限	スケーリング・ルートプレーニング (相互実習) (野中・都野・諏訪間)	スケーリング・ルートプレーニングの要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
30	7/1 (火)	3-4 限	歯周手術、メンテナンスと歯周安定期治療 (講義・小試験) (佐藤)	歯周手術、メンテナンスと歯周安定期治療の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
31	7/8 (火)	3-4 限	メンテナンスと歯周安定期治療 (相互実習①) (都野・米澤)	メンテナンスと歯周安定期治療の要点整理授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
32	7/15 (火)	3-4 限	メンテナンスと歯周安定期治療 (相互実習②) (都野・松本)	メンテナンスと歯周安定期治療の予習授業中に用いた配付資料や実習に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
33	9/2 (火)	3-4 限	TBL発表、歯周疾患治療計画 (講義・グループディスカッション) (野中)	歯周疾患治療計画の要点整理授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。
34	9/9 (火)	3-4 限	歯周疾患治療計画 (グループディスカッション、症例検討) (野中)	発表準備授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行うこと。

【成績評価の方法と基準】

歯科保健指導 (33.3%)、歯科衛生過程 (33.3%)、歯科予防処置 (33.3%) でそれぞれ評価を行う。それぞれの評価基準は次のとおりとする。

〈歯科保健指導〉実習における取り組み姿勢 (30%)、レポート (70%) により評価する。

〈歯科衛生過程〉実習における課題レポート (100%) により評価する。

〈歯科予防処置〉実技試験 (50%) および筆記試験 (50%) により評価する。

【使用テキスト】

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (9,020円)

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯周病学」医歯薬出版 (3,850円)

【参考文献】

最新歯科衛生士教本 口腔保健管理、全国歯科衛生士教育協議会編、医歯薬出版、3,520円

歯科衛生士のための高齢者歯科学、渡邊誠・岩久正明監著、永末書店、2,970円

2023年版 歯科保健指導関係資料、東京歯科大学社会歯科学講座 監修、口腔保健協会、3,300円

歯科衛生ケアプロセス実践ガイド、佐藤陽子・斎藤淳編著、医歯薬出版、3,300円

よくわかる歯科衛生過程、全国歯科衛生士教育協議会、医歯薬出版、3,520円

臨床歯周病学 第3版、村上伸也・申基喆・斎藤淳・山田聡 編、医歯薬出版、11,000円

科 目 名：歯科衛生士臨床実習Ⅰ

担当教員名（所属）：柴田 佐都子、葭原 明弘、佐藤 由紀子、濃野 要、諏訪間 加奈、米澤 大輔、小田島 あゆ子、松本 明日香、平野 真弓（非）、近藤 淳子（病）、高野 綾子（病）

開 講 番 号：250DA308

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生（編入学を除く。）

【科目の概要】

ライフスコースを通して様々な対象者に対する歯科保健指導、歯科予防処置、歯科診療補助、集団歯科健康診査の意義について学ぶ。

実習は、医歯学総合病院における歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助の見学、学校歯科健康診査を実施する。

※歯科医師、歯科衛生士、看護師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

臨地および臨床において歯科衛生士業務を行うために、歯科保健指導、歯科予防処置および歯科診療補助に必要な基本的知識・技術・態度を習得する。

【学習の到達目標】

- ・歯科保健指導および歯科予防処置を行うために必要な問診、口腔内観察、診療録などから適切に情報を収集する。
- ・歯科保健指導の目標を設定する。
- ・歯科保健指導の目標に沿った歯科衛生計画を立案する。
- ・歯科衛生計画に沿った歯科衛生ケア（歯科保健指導・歯科予防処置）を実践する。
- ・歯科診療の手順を説明する。
- ・歯科診療に必要な器具器材を準備する。
- ・医療安全に配慮した歯科衛生士業務を実践する。
- ・集団歯科健康診査の意義を説明する。
- ・集団歯科健康診査において歯科衛生士業務を実践する。
- ・対象者および実習担当者と適切にコミュニケーションをとる。

【授業の実施形態について】

講義を行ったうえで、その内容に関する実習・グループ学習を行う。臨床実習は医歯学総合病院、臨地実習は市内の保健福祉センターおよび高等学校で行う。

【登録のための条件（注意）】

- ・臨地実習として保健福祉センター、学校歯科健診、臨床実習として医歯学総合病院歯科衛生士のメインテナンス見学・補助実習を設定しているため、ガイダンス・オリエンテーションに基づき履修すること。
- ・対象者のライフステージにおける心身の成長段階、口腔内の特徴、適切な歯科保健指導について事前学習しておくこと。
- ・臨床実習において2年次の基礎学習と臨床での実践内容を統合できるよう、2年次の学習内容の復習および事前学習課題を行ったうえで履修すること。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	4/25（金）1-2限	ガイダンス（概要・評価・保健福祉センター実習）、病院実習オリエンテーション、乳幼児期における発達の特徴（柴田・小田島・佐藤）	テキスト予/保Ⅲ編2章①-⑦、Ⅳ編1章②-③、Ⅴ編2章④、授業プリントの要点確認
2	5/2（金）1-2限	病院歯科衛生士によるメインテナンス（高野）、行政における歯科衛生士の役割・歯科保健事業（平野）、（柴田）	テキスト予/保Ⅲ編、Ⅳ編1章②、Ⅴ編、テキスト小児Ⅰ編1-2章、5-7章、Ⅱ編1章、2章①-⑤、6章の要点確認
3	5/9（金）1-2限	集団歯科健康診査（葭原） 対象者別の歯科保健指導 義歯装着者、抜歯患者、矯正装置装着者（松本・諏訪間・柴田）	テキスト予/保Ⅳ編1章④、Ⅴ編2章②、テキスト生態Ⅲ編3章の要点確認／テキスト補綴Ⅱ編2・3章、テキスト口外Ⅲ編2章⑤、テキスト矯正Ⅲ編3章の要点確認
4	5/23（金）1-2限	キュレットスケーラー・シャープニング（小野澤・柴田）	テキスト予/保Ⅲ編3章①-6）、テキスト歯周3編1章⑧-③、授業プリントの要点確認
5	5/26（月）1-2限、 5/27（火）1-2限 （いずれか1日）	学校歯科健診実習（濃野・葭原・柴田・小田島）	学校歯科健診3回の授業内容の復習、授業プリントの要点確認

6	5/30 (金) 1-2 限	う蝕予防処置／シーラント模型実習 (葭原・諏訪間)	テキスト予/保Ⅲ編 3 章④、テキスト小児Ⅱ編 5 章③の要点確認
7	6/6 (金) 1-2 限	病院実習 1 班／予防処置実習 2・3・4 班 超音波スケーリング、PTC、バキューム操作 (小田島・柴田)	テキスト予/保Ⅱ編 1 章①-③、Ⅲ編 1・2 章、3 章①-②、テキスト歯周Ⅲ編 1 章①-③、⑦、授業プリントの要点確認
8	6/13 (金) 1-2 限	障害者を対象とした歯科保健指導 (近藤・柴田)、保健福祉センターにおける歯科保健指導 (近藤・柴田)	テキスト予/保Ⅳ編 2 章②、テキスト小児Ⅱ編 4 章の要点確認／2 回の講義・実習内容の復習
9	6/20 (金) 1-2 限	病院実習 2 班／予防処置実習 3・4・1 班 超音波スケーリング、PTC、バキューム操作 (小田島・柴田)	テキスト予/保Ⅱ編 1 章①-③、Ⅲ編 1・2 章、3 章①-②、テキスト歯周Ⅲ編 1 章①-③、⑦、授業プリントの要点確認
10	6/27 (金) 1-2 限	後期臨床実習のための診療補助実習 (根管・根充、レジン充填の診療補助手順) (柴田・小田島・諏訪間)	テキスト補綴Ⅱ編 2-3 章、テキスト保存Ⅱ編 1 章②、2 章①、Ⅲ編 2 章②、4、7、8 章の要点確認
11	7/4 (金) 1-2 限	病院実習 3 班／予防処置実習 4・1・2 班 超音波スケーリング、PTC、バキューム操作 (小田島・諏訪間)	テキスト予/保Ⅱ編 1 章①-③、Ⅲ編 1・2 章、3 章①-②、テキスト歯周Ⅲ編 1 章①-③、⑦、授業プリントの要点確認
12	7/11 (金) 1-2 限	う蝕予防処置／シーラント相互実習 (葭原・諏訪間)	テキスト予/保Ⅲ編 3 章④、テキスト小児Ⅱ編 5 章③の要点確認、前回の授業・実習内容の復習、授業プリントの要点確認
13	7/18 (金) 1-2 限	病院実習 4 班／予防処置実習 1・2・3 班 超音波スケーリング、PTC、バキューム操作 (小田島・米澤)	テキスト予/保Ⅱ編 1 章①-③、Ⅲ編 1・2 章、3 章①-②、テキスト歯周Ⅲ編 1 章①-③、⑦、授業プリントの要点確認
14	9/5 (金) 1-2 限	実技試験 (バキューム) (小田島・柴田・諏訪間)	予防処置実習内容の復習、授業プリントの要点確認
15	9/12 (金) 1-2 限	実技試験／筆記試験 (葭原・諏訪間・柴田)	13 回までの講義、実習内容の復習、授業プリントの要点確認
16	以下日程のいずれか 1 回 10/9 (木) 1-2 限 11/6 (木) 1-2 限 11/13 (月) 1-2 限 12/4 (木) 1-2 限 12/11 (木) 1-2 限	保健福祉センター実習 (柴田・米澤・諏訪間・小田島・松本)	1、2、8 回の講義内容の復習

【成績評価の方法と基準】

筆記試験 (40%)、実技試験 (40%)、レポート評価 (20%) によって評価する。

【使用テキスト】

「歯科衛生士シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 (第 2 版)」医歯薬出版 (8,300 円)：予/保
「歯科衛生士シリーズ 小児歯科学 (第 2 版)」医歯薬出版 (3,400 円)：小児
「歯科衛生士シリーズ 保健生態学 (第 3 版)」医歯薬出版 (5,800 円)：生態
「歯科衛生士シリーズ 歯科補綴学 医歯薬出版」(3,400 円)：補綴
「歯科衛生士シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 (第 2 版)」医歯薬出版 (4,200 円)：口外
「歯科衛生士シリーズ 歯周病学 医歯薬出版 (3,500 円)」：歯周
「歯科衛生士シリーズ 歯科診療補助論 (第 2 版)」医歯薬出版 (6,800 円)：補助
「歯科衛生士シリーズ 保存修復学・歯内療法学」医歯薬出版 (4,300 円)：保存
「歯科衛生士シリーズ 歯科矯正学」医歯薬出版 (3,600 円)：矯正
※いずれも税別

【参考文献】

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生士シリーズ 障害者歯科」医歯薬出版 (2,400 円)：障歯
公益社団法人日本歯科衛生士会 監修「新歯科保健指導ハンドブックライフコースに沿った歯・口腔の健康づくりの展開に向けて」(3,800 円)

科 目 名：歯科診療補助Ⅱ

担当教員名（所属）：吉羽 永子、小野 和宏、黒川 孝一、Stegaroiu Roxana、柴田 佐都子、米澤 大輔、諏訪間 加奈、西山 秀昌、倉田 行伸、小田島 あゆ子、高橋 功次郎、笹川 祐輝、外園 真規、松本 明日香、伊藤 加代子、大倉 直人、金丸 博子、小林 太一、村上 和裕、手島 諤子（病）、植木 麻有子（病）、平原 綾香（病）、塚田 しげみ（病）、坂本 裕里子（病）、室橋 波菜（病）、駒沢 美幸（病）

開 講 番 号：250DA309**開 講 学 期：**通年**水 準：**14**単 位 数：**4 単位**対 象 学 部 等：**歯学部口腔生命福祉学科 3 年生**【科目の概要】**

歯科診療における補助および介助の業務内容を理解するために、療法別の診療器材の種類、目的および取り扱い方について解説し、正しくかつ安全に使うあるいは行えるように実技指導する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

歯科医療現場におけるチーム診療を安全かつ円滑に行うために、療法別の診療補助および診療介助業務に関する知識、技術および態度を習得する。

【学習の到達目標】

- ・療法別の治療の流れが説明できる。
- ・治療器材の名称と使用目的が説明できる。
- ・全身管理と疼痛管理の概要が説明できる。
- ・静脈路の確保・採血の概要が説明できる。
- ・歯科エックス線撮影と各種画像、および放射線防護について説明できる。
- ・ホワイトニング処置ができる。
- ・院内感染対策と滅菌材料の取扱いの基本が説明できる。
- ・病院の物流システムを説明できる。
- ・診療介助ができる。
- ・歯周検査およびPTCの器具を適切かつ安全に操作できる。
- ・歯科用インプラントが説明できる。
- ・義歯用材料の取り扱いができる。
- ・ルーペおよびマイクロスコープの体験をする。
- ・口腔乾燥症、味覚障害患者への対応を説明できる。
- ・咀嚼能力の評価法とその意義を説明できる。

【授業の実施形態について】

1 学期：教室あるいは示説室でのデモ・講義、実習室での実技を行なう。

2 学期：教室での講義、歯科行動学実習室および臨床技工実習室での「歯科診療補助Ⅰ」および1 学期の履修項目の復習実習を行いながら、4 年生での臨床実習の準備を行う。

【登録のための条件（注意）】

毎回事前配布する「実習の手引き」やハンドアウト等で自主的に予習をして授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	4/14（月）3-4 限	基礎実習：コンボジットレジン修復（充填～研磨）（吉羽）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p110-114、テキスト②p46-69の要点確認
2	4/21（月）3-4 限	保存修復用器材とその使用法（吉羽）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①110-124、テキスト②p8-13、33-41の要点確認
3	4/28（月）3-4 限	基礎実習・相互実習：ラバーダム防湿法、歯肉排除法（吉羽、柴田、小田島）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p99-108の要点確認
4	5/1（木）3-4 限	歯内療法用器材とその使用法（大倉）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p125-132、テキスト②p118-191の要点確認
5	5/7（木）3-4 限	補綴治療用器材とその使用法、リベース材、フィットチェッカー（ステガロウ、松本、小田島）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p138-148、テキスト③p78-95、112-133の要点確認

6	5/12 (月)	3-4 限	基礎実習：暫間被覆冠作製、即時重合レジン の筆積法、仮着（ステガロユ、黒川、松本、小田島）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト①p145-146、テキスト③p89-90の要点確認
7	5/19 (月)	3-4 限	口腔外科用器材とその使用法、替刃メス、縫合糸の取り付け（小野和）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑤p91-109, 140-163の要点確認
8	5/26 (月)	3-4 限	小児歯科用器材とその使用法（笹川）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト④p218-273の要点確認
9	6/2 (月)	3-4 限	矯正治療用器材とその使用法（高橋）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト①p173-182の要点確認
10	6/9 (月)	3-4 限	注意すべき全身疾患、バイタルサイン・モニター（金丸）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト④p174-184, 223-232の要点確認
11	6/16 (月)	3-4 限	局所麻酔、精神鎮静法・全身麻酔（倉田）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト④p185-205, 223-232の要点確認
12	6/23 (月)	3-4 限	歯科放射線学の基礎と実習（1）（西山、小林）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑨p2-21, 30-35, 52-89, 128-143の要点確認
13	6/30 (月)	3-4 限	歯科放射線学の基礎と実習（2）（西山、小林）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑨p2-11, 22-29, 90-127, 162-178の要点確認
14	7/7 (月)	3-4 限	歯科放射線学の基礎と実習（3）（西山、小林）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認、テキスト⑨p52-89, 144-161の要点確認
15	7/14 (月)	3-4 限	ホワイトニングの基礎（講義）（吉羽）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト①p121-124、テキスト②p71-78、テキスト⑥p155-156の要点確認
16	9/1 (月)	3-4 限	ホワイトニング実習（外園、吉羽、小田島）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p121-124、テキスト②p71-78、テキスト⑥p155-156の要点確認
17	9/8 (月)	3-4 限	インプラントの基礎（講義）（ステガロユ）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる要点確認、テキスト③p182-214の要点確認
18	9/16 (火)	3-4 限	実習（筆記）試験（吉羽 他）	第17回までの講義・実習内容の復習
19	10/1 (水)	1-2 限	診療介助実習：歯式の取り方、回転切削用具の種類と用途、歯内治療用器材の種類と用途（吉羽）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①110-132、テキスト②p8-13, 33-41, 118-191の要点確認
20	10/8 (水)	1-2 限	相互実習：概形印象／口腔内写真撮影（吉羽、小田島、手嶋、（松本））	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p92-95, 192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
21	10/15 (水)	1-2 限	相互実習：概形印象／口腔内写真撮影（吉羽、柴田、坂本、（米澤））	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p92-95, 192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
22	10/22 (水)	1-2 限	相互実習：寒天アルジネート連合印象（吉羽、松本、室橋、（小田島））	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p203-204, 192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
23	10/29 (水)	1-2 限	相互実習：シリコン連合印象、咬合採得（吉羽、諏訪間、駒澤）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p204-208, 192-202、テキスト⑥p43-58の要点確認
24	11/5 (水)	1-2 限	相互実習：臨床実習のための診療補助（柴田、諏訪間、小田島）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p171-177、テキスト⑦p195-201の要点確認
25	11/12 (水)	1-2 限	相互実習：超音波スケーリング／実技確認（松本、小田島）	実習の手引による実習内容確認、テキスト⑦p209-222の要点確認
26	11/28 (金)	1-2 限	相互実習：超音波スケーリング（松本、小田島、平原）	実習の手引による実習内容確認、テキスト⑦p209-222の要点確認
27	12/5 (金)	1-2 限	特論発表会聴講（黒川）	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p214-221, 222-235, 240-245、テキスト⑥p72-89の要点確認
28	12/12 (金)	1-2 限	石膏練和、セメント練和（吉羽、柴田、諏訪間、松本、植木）	事前に配布した口腔保健福祉特論発表集を基に学習
29	12/19 (金)	1-2 限	相互実習：歯周ポケット測定、ハンドスケーリング（諏訪間、柴田）	実習の手引による実習内容確認、テキスト⑦p147-151、テキスト⑧p60-63, 164-176の要点確認
30	12/26 (金)	1-2 限	静脈路の確保・採血（倉田、小田島、諏訪間）	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認
31	1/9 (金)	1-2 限	ティッシュコンディショナー、リベース材の扱い方（黒川）	実習の手引による実習内容確認、テキスト③p147-150、テキスト⑥p167-168の要点確認

32	1/16 (金) 1-2 限	相互実習：口腔乾燥症、味覚障害患者への対応 (伊藤、松本)	実習の手引による実習内容確認、テキスト①p86-89の要点確認
33	1/23 (金) 1-2 限	相互実習：ルーペを用いた歯周ポケット測定、マイクロスコープ体験、セメント練和等 (吉羽、諏訪間、柴田、塚田)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認
34	1/30 (金) 1-2 限	咀嚼能力評価法 (村上)	実習の手引による実習内容確認、講義プリントによる実習要点確認
35	2/6 (金) 1-2 限	実習調整日	第19～34回までの講義・実習内容の復習

【成績評価の方法と基準】

1 学期の評価 (50%)、2 学期の評価 (50%) で評価する。それぞれの評価方法と基準は次のとおりである。

1 学期：筆記試験 (80%) および実習態度 (20%) で評価する。

2 学期：観察記録により履修項目の達成度 (70%) および実習態度 (30%) により評価する。

【使用テキスト】

- ①全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論」医歯薬出版 (6,000円・税別)
- ②全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 保存修復学・歯内療法学」医歯薬出版 (4,300円・税別)
- ③全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科補綴学」医歯薬出版 (3,400円・税別)
- ④全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学」医歯薬出版 (3,400円・税別)
- ⑤全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 小児歯科学」医歯薬出版 (3,400円・税別)
- ⑥全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科材料」医歯薬出版 (3,500円・税別)
- ⑦全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論」医歯薬出版 (8,200円・税別)
- ⑧全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯周病学」医歯薬出版 (3,500円・税別)
- ⑨有地榮一郎 他 監修「歯科衛生士テキスト わかりやすい歯科放射線学 (第3版)」学建書院 (2,600円・税別)

【参考文献】

- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科機器」医歯薬出版 (3,200円・税別)
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 歯科矯正学 (第2版)」医歯薬出版 (3,600円・税別)
- 全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」医歯薬出版 (4,400円・税別)
- 金子潤 他 編著「歯科衛生士ベーシックスタンダード ホワイトニング」医歯薬出版 (3,200円・税別)
- 小野高裕、増田裕次 監著「成人～高齢者向け 咀嚼機能アップBOOK」クインテッセンス出版 (4,800円・税別)
- 有田清子 他著「基礎看護学[3] 基礎看護技術II 第18版」医学書院 (2,900円・税別)

科 目 名：臨床歯科学Ⅱ

担当教員名(所属)：濃野 要、小野 和宏、Stegarioiu Roxana、野中 由香莉

開 講 番 号：250DA310

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

歯科保存学、歯科補綴学、口腔外科の疾患に対する原因・診断・治療法について小グループにより学習・調査し、その結果を発表して討論し、理解を深める。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

実際の臨床の現場で対応できる知識を身につけるため、様々な疾患や病状を持った具体的なケースを題材としてグループで議論しながら、自ら考え、調査し、議論してグループメンバーと協力して与えられた課題を解決することを体験する。このような経験を通じて口腔領域の疾患の病態、全身と口腔疾患との関連、治療法を理解する。

【学習の到達目標】

- ・歯周病学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・歯科補綴学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・口腔外科学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる

【授業の実施形態について】

PBL形式のグループ学習を主体とする。また、各臨床歯学領域の講義を併せて行う。(PBL形式の実施に対して合理的な配慮を希望する場合は初回実施日までに申し出てください。実施方法について相談します。)

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	4/14(月) 1限 2限	シナリオ1の提示と学習課題の設定(FC) グループ学習	PBL学習システムの復習
2	4/28(月) 1限 2限	歯科補綴学講義(Stegarioiu Roxana) グループ学習	シナリオ1学習課題の調査補綴物作成手順講義の 要点確認
3	5/12(月) 1-2限	グループ討議・シナリオ2提示と学習課題の設定(FC)	シナリオ1の発表準備
4	5/19(月) 1-2限	グループ学習	シナリオ2の学習課題調査
5	6/2(月) 1-2限	グループ討議・シナリオ3提示と学習課題の設定(FC)	シナリオ2発表準備
6	6/17(月) 1限 2限	グループ学習 歯周病学講義(根分岐部病変・野中)	シナリオ3の学習課題調査根分岐部病変講義の 要点確認
7	6/30(月) 1-2限	グループ討議・シナリオ4提示と学習課題の設定(FC)	シナリオ3発表準備
8	7/14(月) 1限 2限	グループ学習 歯周病学講義(歯周組織再生療法・野中)	シナリオ4の学習課題調査歯周組織再生療法講義の 要点確認
9	9/8(月) 1限 2限	PBL前半グループ討議 学生からの質問に答えるセミナー (Stegarioiu Roxana・小野・野中・濃野)	シナリオ4発表準備シナリオ1-4の学習成果復習

【成績評価の方法と基準】

多肢選択形式および記述式の筆記試験(100%)により評価する。

形成的評価によりフィードバックを行う(学生評価・教員評価・シナリオ評価)。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

【使用テキスト】

全国歯科衛生士教育協議会監修

歯周病学(第2版) 医歯薬出版株式会社 3,500円

歯科補綴学 医歯薬出版株式会社 3,400円

【参考文献】

これまでに用いた各科目の教科書をはじめ、多くの書籍、論文、インターネットなど多岐にわたるリソースを駆使して学習する。

科 目 名：臨床歯科学Ⅲ

担当教員名(所属)：濃野 要、小野 和宏、Stegarioiu Roxana、中村 由紀、大森 裕子

開 講 番 号：250DA311

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

口腔外科、歯科矯正、小児歯科領域の疾患に対する原因・診断・治療法について小グループにより学習・調査し、その結果を発表して討論し、理解を深める。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

実際の臨床の現場で対応できる知識を身につけるため、様々な疾患や病状を持った具体的なケースを題材としてグループで議論しながら、自ら考え、調査し、議論してグループメンバーと協力して与えられた課題を解決することを体験する。このような経験を通じて口腔領域の疾患の病態、全身と口腔疾患との関連、治療法を理解する。

【学習の到達目標】

- ・小児歯科学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・口腔外科学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。
- ・歯科矯正学領域の疾患の原因、治療法、診療室における歯科衛生士の役割について説明できる。

【授業の実施形態について】

PBL形式のグループ学習を主体とする。(PBL形式の実施に対して合理的な配慮を希望する場合は初回実施日までに申し出て下さい。実施方法について相談します。)

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	10/6(月)3限	シナリオ5提示と学習課題の設定(FC)	PBL学習システムの復習
	4限	グループ学習	
2	10/27(月)3-4限	グループ学習	シナリオ5の学習課題の調査
3	11/17(月)3-4限	グループ討議・シナリオ6提示と学習課題の設定(FC)	シナリオ5の発表準備
4	12/1(月)3-4限	グループ学習	シナリオ6の学習課題調査
5	12/8(月)3-4限	グループ討議・シナリオ7提示と学習課題の設定(FC)	シナリオ6発表準備
6	12/22(月)3-4限	グループ学習	シナリオ7の学習課題調査
7	1/19(月)3-4限	グループ討議・シナリオ8提示と学習課題の設定(FC)	シナリオ7発表準備
8	2/2(月)3限	グループ討議	シナリオ8発表準備
	4限	学生からの質問に答えるセミナー(小野・Stegarioiu Roxana・中村・大森・濃野)	シナリオ5-8の学習成果の復習

【成績評価の方法と基準】

多肢選択形式および記述式の筆記試験(100%)により評価する。

形成的評価によりフィードバックを行う(学生評価・教員評価・シナリオ評価)。なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

【使用テキスト】

全国歯科衛生士教育協議会監修

小児歯科 第2版 医歯薬出版株式会社 3,400円

歯科矯正学 第2版 医歯薬出版株式会社 3,600円

【参考文献】

これまでに用いた各科目の教科書をはじめ、多くの書籍、論文、インターネットなど多岐にわたるリソースを駆使して学習する。

科 目 名：障害者福祉総論（障害者福祉論Ⅰ／社会福祉援助技術論Ⅱ）

担当教員名（所属）：黒川 孝一、中村 健、神子島 旬子、丸田 徹（非）、島田 久幸（非）、中村 章一（非）、石坂 陽子（非）、大原 圭（非）

開 講 番 号：250DA312／250DA313 **開 講 学 期：**第2学期 **水 準：**14

単 位 数：2単位/2単位 **対 象 学 部 等：**歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

社会福祉士として必要な障害者福祉についての理念や基本的考え方などの専門的知識術を習得するために、講義やスモールグループに別れてシナリオに基づき総合的に学習する。

※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

現代社会における障害の概念、障害者の実態及び障害者福祉の社会的背景について理解する。また、障害者福祉の理念と意義を踏まえ、障害者福祉の需要の把握方法、関連法とサービスの体系、民間活動および民間サービスの意味とその現状について理解する。さらに障害者福祉における専門職と関連分野の連携のあり方について考える。

【学習の到達目標】

- ・ 障害の種類と国際分類について説明できる。
- ・ ADL・IADLとQOL（生活の質）について説明できる。
- ・ 疾病と障害の概要について説明できる。
- ・ 障害者の法的定義、自立について説明できる。
- ・ 障害児・者関係実態調査について説明できる。
- ・ 障害者基本法の概要について説明できる。
- ・ 障害者総合支援法の概要について説明できる。
- ・ 障害児・身体障害者・知的障害者・精神障害者の福祉について説明できる。
- ・ 身体障害者・知的障害者の相談支援事業について説明できる。
- ・ 障害者の保健・医療、教育、雇用・就労、年金・手当及び経済的負担の軽減、住宅・生活環境についての関連法による施策について説明できる。
- ・ 発達障害者支援法について説明できる。

【授業の実施形態について】

講義と4つのシナリオを用いたPBL形式で行い、各シナリオ終了後、必要に応じて補足セミナーを行う。

【登録のための条件（注意）】

- ・ 制度改正が煩雑に行われる領域でもあるので、公的機関のホームページ等を活用し、最新の情報源から学習するように心がけること。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	10/2（木）3限	講義：現代社会と障害および障害者法体系（黒川）	現代社会と障害および障害者法体系および障害者の就労支援の要点の確認
	4限	講義：障害者の就労支援について（黒川）	
2	10/3（金）3限	講義：障害児・者の福祉の概要について（神子島）	障害児・者の福祉および精神障害者福祉の要点の確認
	4限	講義：精神障害者福祉の概要について（神子島）	
3	10/7（火）3限	講義：障害者総合支援法の概要について（中村健）	障害者総合支援法および障害福祉サービスの体系の要点の確認
	4限	講義：障害福祉サービスの体系（中村健）	
4	10/9（木）3限	シナリオ1提示（FC3名）	PBLの進め方の復習シナリオ1の学習課題の整理
	4限	シナリオ1グループ学習	
5	10/10（金）3-4限	シナリオ1グループ討議・シナリオ2提示（FC3名）	シナリオ1の学習成果発表の準備
6	10/14（火）3-4限	シナリオ2グループ学習	シナリオ2の学習課題の整理
7	10/17（金）3限	シナリオ2グループ討議（FC3名）	シナリオ2の学習成果発表の準備
	4限	シナリオ1/2 パワーポイントまとめ	
8	10/22（火）3限	シナリオ1/2発表（黒川、中村章）	シナリオ1・2の追加学習・学習成果の要点確認
	4限	セミナー（黒川、中村章）	

9	10/23 (木)	3 限 4 限	シナリオ 3 提示 (FC 3 名) シナリオ 3 グループ学習	シナリオ 3 の学習課題の整理
10	10/24 (金)	3-4 限	シナリオ 3 グループ討議・シナリオ 4 提示 (FC 3 名)	シナリオ 3 の学習成果発表の準備
11	10/28 (火)	3-4 限	講義: 障害者ケアマネジメントについて (島田)	障害者ケアマネジメントの要点の確認
12	10/30 (木)	3-4 限	シナリオ 4 グループ学習	シナリオ 4 の学習課題の整理
13	10/31 (金)	3 限 4 限	シナリオ 4 グループ討議 (FC 3 名) シナリオ 3 / 4 パワーポイントまとめ	シナリオ 4 の学習成果発表の準備
14	11/ 4 (火)	3 限 4 限	シナリオ 3 / 4 発表 (黒川、石坂) セミナー (黒川、石坂)	シナリオ 3・4 の追加学習・学習成果の要点確認
15	11/ 6 (木)	3-4 限	講義: 障害者スポーツの展開について (丸田、黒川)	障害者スポーツの要点の確認
16	11/11 (火)	3-4 限	演習:事例検討、課題設定 (中村健)	障害者に対する福祉援助技術の要点の確認
17	11/13 (木)	3-4 限	演習:事例検討 課題発表 (中村健)	障害者に対する福祉援助技術の事例学習成果発表の準備
18	11/14 (金)	3-4 限	講義:精神障害者施策の展開 (大原、黒川)	精神障害者施策の要点の確認
19	11/18 (火)	3-4 限	筆記試験 (黒川)	障害者福祉および援助技術論全般の確認

【成績評価の方法と基準】

(障害者福祉論Ⅰ)

筆記試験 (選択式および記述式) (100%) により評価する。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

(社会福祉援助技術論Ⅱ)

筆記試験 (選択式および記述式) (100%) により評価する。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

【使用テキスト】

指定しない。

科 目 名：高齢者福祉総論（高齢者福祉論Ⅰ／社会福祉援助技術演習Ⅰ）

担当教員名（所属）：神子島 旬子、中村 健、真部 和彦（非）、林 正海（非）

開 講 番 号：250DA314／250DA315 開 講 学 期：第2学期 水 準：14

単 位 数：4単位 対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

高齢者の生活構造、生活実態とこれを取り巻く社会情勢、介護保険制度および高齢者福祉関連制度、介護の概念や技法について理解する。

※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

高齢者の生活の現実とその構造を把握し、介護の概念、対象、理念および介護サービスの需要について理解する。加えて、高齢者福祉分野におけるソーシャルワークに不可欠な介護保険制度および高齢者福祉関連制度を体系的に学修する。

【学習の到達目標】

- ・ 少子高齢社会の到来および将来予測について、具体的なデータの分析を踏まえて説明する。
- ・ 高齢者の生活構造・実態を踏まえ、高齢者の福祉・介護サービスに対する一般的なニーズの要点を説明する。
- ・ 高齢者の加齢に伴う身体および精神の変化や加齢に伴う疾病について例示的に説明する。
- ・ 介護の概念、対象およびその理念について、要点を説明する。
- ・ 介護過程における介護技法の基本を列挙する。
- ・ 介護予防の基本的な考え方を例示的に説明する。
- ・ 介護保険制度およびその他の高齢者福祉関連制度の要点を説明する。
- ・ 介護保険制度における介護サービスを列挙し、その具体的な内容と対象を例示的に説明する。
- ・ 高齢者の身体および精神の加齢変化や特徴的な疾病の要点を説明する。

【授業の実施形態について】

講義、小グループによるPBL学習、演習を組み合わせ学習する。

【登録のための条件（注意）】

- ・ 内閣府「高齢社会白書」に目を通しておくことが望ましい。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	11/20（木）3-4限	現代社会と高齢者福祉（神子島）	社会福祉原論の講義内容全般の復習。
2	11/21（金）3-4限	ソーシャルワーク実習ガイダンス①（神子島）	社会福祉現場実習指導Ⅰで実施した見学実習で学習した内容を整理。
3	11/25（火）3限	PBL：シナリオ1提示（FC）	社会福祉原論のうち、「人口変動」に関する講義内容の復習。
	4限	PBL：シナリオ1グループ学習	
4	11/27（木）3限	PBL：シナリオ1グループ討議（FC）	グループ学習内容の整理。
	4限	PBL：シナリオ1まとめ	
5	11/28（金）3限	PBL：シナリオ1発表（神子島）	発表準備。
	4限	高齢者福祉の発展過程1（神子島）	
6	12/2（火）3限	PBL：シナリオ2提示（FC）	社会福祉原論のうち、「貧困問題」に関する講義内容の復習。
	4限	PBL：シナリオ2グループ学習	
7	12/4（木）3限	PBL：シナリオ2グループ討議（FC）	グループ学習内容の整理。
	4限	PBL：シナリオ2まとめ	
8	12/5（金）3限	PBL：シナリオ2発表（神子島）	発表準備。
	4限	高齢者福祉の発展過程2（神子島）	
9	12/9（火）3限	PBL：シナリオ3提示（FC）	社会福祉現場実習指導Ⅰ（ソーシャルワーク論）のうち、「自己理解」に関する講義内容の復習。
	4限	PBL：シナリオ3グループ学習	
10	12/11（木）3限	PBL：シナリオ3グループ討議（FC）	グループ学習内容の整理。
	4限	PBL：シナリオ3まとめ	
11	12/12（金）3限	PBL：シナリオ3発表（神子島）	発表準備。
	4限	介護保険制度1（神子島）	
12	12/16（火）3限	PBL：シナリオ4提示（FC）	介護保険制度に関する講義内容の復習。
	4限	PBL：シナリオ4グループ学習	
13	12/18（木）3限	PBL：シナリオ4グループ討議（FC）	グループ学習内容の整理。
	4限	PBL：シナリオ4まとめ	

14	12/19 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 4 発表 (神子島)	発表準備。
15	12/23 (火)	3-4 限	介護保険制度 2 (神子島)	シナリオ 1-4 で学習した内容を復習。
16	12/25 (木)	3-4 限	介護の概念や対象 (真部)	社会福祉原論のうち、「社会的包摂」に関する講義内容の復習。
			ホームレス・社会的排除 (中村)	社会福祉原論のうち、「社会的包摂」に関する講義内容の復習。
17	12/26 (金)	3-4 限	ソーシャルワーク実習ガイダンス② (神子島)	ソーシャルワーク実習ガイダンス①で学習した内容を整理。
18	1/8 (木)	3-4 限	介護サービスの実際① (真部)	シナリオ 1-4 で学習した内容を復習。
19	1/9 (金)	3-4 限	独立型社会福祉士 (林)	社会福祉現場実習指導 I (ソーシャルワーク論)のうち、「社会福祉士」に関する講義内容の復習。
20	1/13 (火)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 5 提示 (FC)	社会福祉現場実習指導 I (ソーシャルワーク論)の講義内容全般の復習。
21	1/15 (木)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 5 グループ学習	グループ学習内容の整理。
			PBL：シナリオ 5 グループ討議 (FC)	
			PBL：シナリオ 5 まとめ	
22	1/16 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 5 発表 (神子島)	発表準備。
			介護保険制度 3 (神子島)	
23	1/20 (火)	3-4 限	障害者・高齢者虐待対応 (中村)	社会福祉現場実習指導 I (ソーシャルワーク論)の講義内容の復習。
24	1/23 (金)	3-4 限	ソーシャルワークの新領域 (林)	「独立型社会福祉士」で学習した内容を復習。
25	1/27 (火)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 6 提示 (FC)	「障害者・高齢者虐待」の演習で学習した内容を復習。
			PBL：シナリオ 6 グループ学習	グループ学習内容の整理。
26	1/29 (木)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 6 グループ討議 (FC)	
			PBL：シナリオ 6 まとめ	
27	1/30 (金)	3 限 4 限	PBL：シナリオ 6 発表 (神子島)	発表準備。
			介護保険制度 4 (神子島)	
28	2/3 (火)	3-4 限	介護サービスの実際② (真部)	シナリオ 1-6 で学習した内容を復習。
29	2/5 (木)	3-4 限	認知症 (中村)	シナリオ 3,5 で学習した内容を復習。
30	2/6 (木)	3 限 4 限	まとめと振り返り (神子島)	これまでの授業内容を振り返り、自己認識に変化のあった部分を口頭で説明できるよう準備する。
			筆記試験 (神子島)	

【成績評価の方法と基準】

レポート及び発表 (50%)、試験 (50%) で評価する。

PBLについては、形成的評価によりユニットコーディネーターおよびファシリテーターが随時フィードバックを行う。

なお、12月に改良版トリプルジャンプで総合的な評価を行う。改良版トリプルジャンプの実施方法、評価基準と合格基準は直接説明する。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

必要に応じて授業中に紹介する。

【参考Webサイト】

内閣府「高齢社会白書」 <https://www8.cao.go.jp/kourei/whitepaper/index-w.html>

科 目 名：高齢者・障害者歯科学

担当教員名(所属)：米澤 大輔、井上 誠、大島 勇人、辻村 恭憲、大島 邦子、真柄 仁、伊藤 加代子

開 講 番 号：250DA316

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

全身ならびに顎口腔系の加齢に伴う形態学的・機能的変化ならびに高齢者に特有の疾患に伴うこれらの変化を理解し、超高齢社会における高齢者を取り巻く歯科口腔保健に関わる社会環境やその問題点を集学的に学修する。

※医師ならびに歯科医師としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

超高齢社会における歯科衛生士の役割をはたすため、老年患者のもつ生物学的特徴を正しくとらえて、これを理解する。超高齢社会における歯科医療体制やその問題点およびその解決に向けた基礎的な知識を修得する。

【学習の到達目標】

- ・生物学加齢変化と病的加齢変化について説明する。
- ・各器官、各組織の老化ならびに機能の加齢変化について説明する。
- ・顎口腔領域の加齢変化について説明する。
- ・高齢者を取り巻く社会的環境について説明する。
- ・高齢者の精神・心理的背景について説明する。
- ・高齢者にみられる全身疾患および全身状態を説明する。
- ・高齢者の栄養と口腔保健について説明する。

【授業の実施形態について】

講義ならびに課題に対するグループ単位での発表を行う。

講義では前回の内容について小テストにてその復習を行う。

【登録のための条件（注意）】

- ・口腔機能に関する生理学の知識があることが望ましい。
- ・高齢者の社会福祉に興味をもって臨むことが望ましい。
- ・講義資料は分野HPに掲載するため、各自でダウンロードし一読してから授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	10/3 (金) 1限	摂食嚥下障害総論(井上)	事前に配布された講義プリント(摂食嚥下障害)を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
2	10/3 (金) 2限	摂食嚥下機能の評価と診断(井上)	事前に配布された講義プリント(摂食嚥下機能の評価と診断)を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
3	10/7 (火) 2限	総論(井上)	事前に配布された講義プリントを前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
4	10/10 (金) 1限	障害児・者の歯科治療1(大島邦)	事前に配布された講義プリント(摂食嚥下リハビリテーション)を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
5	10/10 (金) 2限	障害児・者の歯科治療2(大島邦)	事前に配布された講義プリント(脳血管疾患に伴う摂食嚥下障害)を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。

6	10/14 (火) 2 限	高齢者の特性 (井上)	事前に配布された講義プリント (高齢者の特性) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
7	10/17 (金) 1 限	摂食嚥下リハビリテーション (井上)	事前に配布された講義プリント (障害児・者の歯科治療) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
8	10/17 (金) 2 限	脳血管疾患に伴う摂食嚥下障害 (井上)	事前に配布された講義プリント (障害児・者の歯科治療) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
9	10/21 (火) 2 限	高次機能の加齢変化 (井上)	事前に配布された講義プリント (高次機能の加齢変化) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
10	10/24 (金) 1-2 限	自習	これまでに配布された講義プリントを十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
11	10/28 (火) 2 限	顎口腔顔面の形態変化 (大島)	事前に配布された講義プリント (顎口腔顔面の形態変化) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
12	10/31 (金) 1 限	頭頸部腫瘍他に伴う摂食嚥下障害 (井上)	事前に配布された講義プリント (頭頸部腫瘍他に伴う摂食嚥下障害) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
13	10/31 (金) 2 限	その他の摂食嚥下障害 (井上)	事前に配布された講義プリント (その他の摂食嚥下障害) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
14	11/4 (火) 2 限	超高齢社会における地域歯科医療 (渡部)	事前に配布された講義プリント (超高齢社会における地域歯科医療) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
15	11/11 (火)	顎口腔系の加齢変化 (味覚と唾液) (伊藤)	事前に配布された講義プリント (味覚と唾液) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
16	11/14 (金) 1 限	要介護高齢者の口腔ケア (伊藤)	事前に配布された講義プリント (要介護高齢者の口腔ケア) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
17	11/14 (金) 2 限	自習	これまでに配布された講義プリントを十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
18	11/18 (火) 2 限	オーラルフレイル (真柄)	事前に配布された講義プリント (オーラルフレイル) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
19	11/21 (金) 1-2 限	課題発表 (井上)	課題発表の準備を十分行うこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。

20	11/25 (火) 2 限	周辺機能 (咳嗽・呼吸) の加齢変化 (辻村)	事前に配布された講義プリント (咳嗽・呼吸) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
21	12/2 (火) 2 限	超高齢社会における歯科医療のあり方 (大内)	事前に配布された講義プリント (超高齢社会における歯科医療のあり方) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
22	12/9 (火) 2 限	顎口腔系の加齢変化 (摂食機能) (井上)	事前に配布された講義プリント (顎口腔系の加齢変化) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
23	12/10 (水) 5 限	高齢者と骨粗鬆症 (今井)	事前に配布された講義プリント (高齢者と骨粗鬆症) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
24	12/17 (水) 5 限	高齢者の栄養 (小山)	事前に配布された講義プリント (高齢者の栄養) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。
25	12/24 (水) 5 限	高齢者と心不全 (小幡)	事前に配布された講義プリント (高齢者と心不全) を前もって十分に読んでおくこと。授業中に用いた配付資料やレポート課題に照らし合わせて十分な事後学習を行いレポート提出とすること。

【成績評価の方法と基準】

筆記試験 (90%) ならびに毎回の小テスト、態度および課題の発表内容 (10%) により評価する。

【使用テキスト】

指定しない。講義資料をHPに掲載する。

【参考文献】

大内 尉義・他編「新老年学 (第3版)」東京大学出版社 (44,000円)
日本老年医学会 編「老年医学テキスト (改訂第3版)」メジカルビュー社 (7,700円)
佐藤 裕二・他編「よくわかる高齢者歯科」永末書店 (9,350円)
森戸 光彦・他編「老年歯科医学」医歯薬出版 (11,000円)

【参考Webサイト】

<http://www5.dent.niigata-u.ac.jp/~dysphagia/education/dentistry/index.html>

科 目 名：歯科衛生学実習Ⅲ

担当教員名(所属)：小田島 あゆ子、勝良 剛詞、柴田 佐都子、倉田 行伸、諏訪間 加奈、米澤 大輔、真柄 仁、松本 明日香、薄波 清美(非)、望月 亮(非)、上原 愛(非)、谷地 美貴(非)、中村 夢衣(病)、青木 美栄子(病)、五十嵐 竜太(病)、山崎 真理(病)

開 講 番 号：250DA317**開 講 学 期：**第2学期**水 準：**14**単 位 数：**2単位**対 象 学 部 等：**歯学部口腔生命福祉学科3年生**【科目の概要】**

要介護者、障害者、摂食嚥下機能低下者、有病者などに適切な歯科衛生介入を行うために必要な専門的な知識、技術および態度について、講義や演習を通して総合的に学習する。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員がその経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

有病者、要介護者、障害者、嚥下機能低下者等を対象として、病院、施設、在宅等の環境に配慮し、歯科衛生過程の展開を通して適切な歯科保健指導、歯科予防処置を実施するために必要な知識、技術態度を身につける。

【学習の到達目標】

- ・有病者、要介護者、障害者、嚥下機能低下者等を対象として、歯科保健指導および歯科予防処置を実施するために必要な情報の収集・処理、問題点を抽出することができる。
- ・抽出した問題点から、その原因を判断することができる。
- ・判断した問題点の原因に対して歯科保健指導および歯科予防処置を実施するために、介入計画を立案し、実践することができる。
- ・対象者に実践した介入の評価および各ステップの評価ができる。
- ・有病者、要介護者、障害者、嚥下機能低下者等の対象者およびその家族の内面を理解することができる。

【授業の実施形態について】

講義および実習を行う。講義は実際に障害者、要介護者、有病者の歯科保健指導を行っている歯科医師、歯科衛生士などを招いて行うこともある。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	10/1(水) 3-4限	ガイダンス／口腔機能低下症(小田島)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者テキスト2-Ⅲ編2章歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理
2	10/8(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)演習事例(小田島)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者テキスト2-Ⅲ編2章歯科衛生アセスメントとしての情報収集と情報処理
3	10/15(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(障害者)障がい者歯科(望月・小田島)	テキスト1-Ⅳ編2章②障害児者
4	10/16(木) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)要介護者の移乗・移送／コミュニケーション障害(小田島)	授業プリントの要点確認
5	10/20(月) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)摂食嚥下機能低下者への対応・機能評価(真柄・小田島)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者
6	10/22(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(障害者)障害者歯科と歯科衛生士(谷地・小田島)	テキスト1-Ⅳ編2章②障害児者
7	10/29(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)演習事例2／嚥下調整食(小田島・松本)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者
8	11/5(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)食事介助・口腔ケア(小田島・柴田)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者
9	11/10(月) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)摂食嚥下機能低下者への対応・経鼻吸引(真柄・倉田・小田島・米澤)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者
10	11/12(水) 3-4限	対象者別歯科保健指導(要介護者)要介護高齢者の口腔健康管理(薄波・小田島)	テキスト1-Ⅳ編1章⑦老年期テキスト1-Ⅳ編2章①要介護高齢者

11	11/19 (水)	1-2 限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際 1 (小田島・松本)	第 1-10 回までの講義および実習内容の復習介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
12	11/19 (水)	3-4 限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際 2 (小田島・松本)	第 1-10 回までの講義および実習内容の復習介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
13	11/26 (水)	1-2 限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際 3 (小田島・諏訪間)	第 1-10 回までの講義および実習内容の復習介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
14	11/26 (水)	3-4 限	介護保険施設における口腔機能の維持管理の実際 4 (小田島・諏訪間)	第 1-10 回までの講義および実習内容の復習介護保険施設における口腔機能維持管理の実習要綱確認
15	12/3 (水)	3-4 限	対象者別歯科保健指導 (有病者) 周術期口腔機能管理 1 (小田島・中村)	授業プリントの要点確認
16	12/10 (水)	3-4 限	対象者別歯科保健指導 (有病者) 周術期口腔機能管理 2 (がん患者の口腔ケア) (勝良・小田島)	授業プリントの要点確認
17	12/17 (水)	3-4 限	対象者別歯科保健指導 (有病者) 周術期口腔機能管理 3 (緩和ケア) (山崎・小田島)	授業プリントの要点確認
18	12/24 (水)	3-4 限	対象者別歯科保健指導 (有病者 4) 歯科診療に必要な基本的な感染対策の知識／集中ケア領域の患者の特殊性と口腔ケア (青木・五十嵐・小田島)	授業プリントの要点確認
19	1/14 (水)	3-4 限	医療安全管理 1 (柴田)	テキスト 3-I 編 2 章 医療安全と感染管理の要点確認
20	1/21 (水)	3-4 限	医療安全管理 2 (柴田)	テキスト 3-I 編 2 章 医療安全と感染管理の要点確認
21	1/28 (水)	3-4 限	試験 (実技・筆記) (小田島・柴田・米澤・諏訪間・松本)	第 20 回までの講義および実習内容の復習

【成績評価の方法と基準】

レポート (30%)、実技試験 (30%) および筆記試験 (40%) より評価する。

【使用テキスト】

1. 「歯科衛生学シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論 第 2 版」医歯薬出版 (8,300 円・税別)
2. 「歯科衛生学シリーズ 歯科診療補助論 第 2 版」医歯薬出版 (6,800 円・税別)

【参考文献】

1. 「歯科衛生学シリーズ 障害者歯科学」医歯薬出版 (2,400 円・税別)
2. 「歯科衛生学シリーズ 高齢者歯科学」医歯薬出版 (4,400 円・税別)
3. 「歯科衛生学シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学 第 2 版」医歯薬出版 (4,200 円・税別)
4. 「歯科衛生学シリーズ 歯科放射線学 第 2 版」医歯薬出版 (2,800 円・税別)
5. 「歯科衛生士のための歯科医療安全管理 第 2 版」医歯薬出版 (3,600 円・税別)

科 目 名：地域福祉論

担当教員名（所属）：中村 健、大内 章嗣、神子島 旬子、稲田 泰紀（非）

開 講 番 号：250DA318

開 講 学 期：第1学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

地域福祉の基本的考え方、地域福祉に係る組織、団体及び専門職や住民、地域福祉の推進方法について、講義及び演習（事例検討）により学習する。

【科目のねらい】

地域福祉の全体像と基本となる考え方を理解した上で、地域福祉の実践について学ぶことで、地域福祉を推進するための理論と方法を理解する。

【学習の到達目標】

- ・地域福祉の基本的考え方（人権尊重、権利擁護、自立支援、地域生活支援、地域移行、社会的包摂等）について概説できる
- ・地域福祉の主体と対象について概説できる。
- ・地域福祉に関わる組織、団体について説明できる。
- ・地域福祉に関わる専門職の役割と実際について説明できる。
- ・地域福祉におけるネットワーク（多職種・多機関との連携を含む）の意義と方法及びその実際について概説できる。
- ・地域福祉の推進方法（社会資源の活用・調整・開発、福祉ニーズの把握方法、地域共生社会の実現、包括的支援体制・地域包括ケアシステムの構築方法、サービスの評価方法等）について概説できる。

【授業の実施形態について】

講義と演習（事例検討）を組み合わせることで、知識を習得すると共に、事例に対する自己の考えを構築、説明する力を涵養する。

【登録のための条件（注意）】

- ・講義については、あらかじめ講義内容に関連した参考書等を調べ、基本的知識を整理したうえで講義に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	4/30（水）1-2限	地域福祉の全体像（中村）	地域福祉の概念を調べる
2	5/14（水）1-2限	行政組織と民間組織の役割（中村）	行政組織と民間組織の役割について要点整理
3	5/21（水）1-2限	地域福祉の基本的な考え方（神子島）	地域福祉の基本的な考え方について要点整理
4	5/28（水）1-2限	地域共生社会、包括的支援体制、地域包括ケアシステム・地域における福祉サービスの評価方法と実際（中村）	地域共生社会、包括的支援体制、地域包括ケアシステム・地域における福祉サービスの評価方法について要点整理
5	7/16（水）1限	地域における社会資源の活用・調整・開発（大内）	地域における社会資源の活用・調整・開発について要点整理
6	7/16（水）2限	専門職や地域住民の役割（中村）	専門職や地域住民の役割について要点整理
7	9/2（火）1限	地域における福祉ニーズの把握方法と実際（大内）	地域における福祉ニーズの把握方法について要点整理
8	9/2（火）2限	コミュニティソーシャルワーク（中村）	コミュニティソーシャルワークについて要点整理
9	9/3（水）1-2限	専門職や地域住民の役割と実際（稲田）	社会福祉協議会について要点整理
10	9/10（水）2限	演習（事例検討）（稲田）	前回の講義内容の復習

【成績評価の方法と基準】

筆記試験（選択式および記述式）（90%）および学習態度（10%）により総合的に評価する。

【使用テキスト】

特に指定しない。

【参考文献】

一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編「最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座6 地域福祉と包括的支援体制」中央法規出版 ISBN：978-4-8058-8236-8 （3,190円）

科 目 名：権利擁護と成年後見

担当教員名(所属)：大内 章嗣、神子島 旬子、中村 健、寺口 祐司(非)

開 講 番 号：250DA319

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：1単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

成年後見制度を始めとした権利擁護活動の概要と実際について、実務担当者による事例報告も交えながら学習する。
※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

認知症高齢者の増加に伴い、重要性が高まっている権利擁護の概念・内容について、その背景となる法や関連サービスとの関わりを含めて理解するとともに、その中核となる成年後見制度を含め、権利擁護に関わる制度・サービスの内容、組織・団体等について、その活動の実際を含め理解する。

【学習の到達目標】

- ・権利擁護の概念とそれに関わる法（日本憲法の基本原理、民法・行政法の基本概念を含む）について概説できる。
- ・成年後見制度（後見人等の役割を含む）について説明できる。
- ・成年後見制度の実際（成年後見制度利用支援事業等を含む）について概説できる。
- ・権利擁護に関わる組織・団体とその役割について説明できる。
- ・虐待や認知症などの支援が必要な者に対する権利擁護活動の実際について概説できる。

【授業の実施形態について】

講義を中心に、一部、演習を交えて学習する。

【登録のための条件（注意）】

- ・参考文献に挙げた図書等で各授業内容に関連した事項を調べ、基本的知識を整理したうえで授業に臨むこと。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	12/10(水) 1-2限	オリエンテーション・権利擁護の概念・活動と法(大内)	事前：日本国憲法における人権・社会権に関する規定および民法における契約の概念について整理しておく。事後：消費者保護に関わる各制度の概要について整理する。
2	12/17(水) 1-2限	成年後見制度と成年後見制度利用支援事業(大内)	事前：法定成年後見制度と任意後見制度について調べ、その違いを整理しておく。事後：後見、補佐、補助の対象、内容等の違いおよび制度活用のための取り組みについて整理する。
3	12/24(水) 2限	権利擁護に関わる組織・団体の役割(中村)	事前：地域包括支援センターなど、権利擁護に関わる組織・団体にはどんなものがあり、どのような活動を行っているのか、調べておく。事後：権利擁護に関わる組織・団体の役割と連携について整理する。
4	1/7(水) 2限	権利擁護に関わる専門職の役割(神子島)	事前：認知症患者等の意思(自己)決定を支援するための基本的考え方(ガイドライン等)を調べ、要点をまとめておく。事後：自己決定支援の基本的考え方とその際の専門職の役割について整理する。
5	1/21(水) 2限	成年後見・権利擁護活動の実際1(寺口)	事前：これまでの授業で生じた権利擁護、成年後見に関する取り組みについて、疑問点等を整理しておく。事後：事例における対応について、要点および疑問点を整理する。
6	1/28(水) 2限	成年後見・権利擁護活動の実際2(寺口)	事前：成年後見利用促進法の内容と、実際に行われている対応について調べ、要点を整理しておく。事後：成年後見・権利擁護活動における社会福祉士の役割を整理する。
7	2/4(水) 2限	まとめと筆記試験(大内)	事前：これまでの授業内容を復習し、疑問点等を整理しておく。

【成績評価の方法と基準】

筆記試験(選択式および記述式)(90%)および学習態度(10%)により総合的に評価する。

【使用テキスト】

指定しない。

【参考文献】

日本ソーシャルワーク教育学校連盟 編「権利擁護を支える法制度」中央法規出版(2,750円)

科 目 名：歯科衛生士臨床実習Ⅱ

担当教員名（所属）：柴田 佐都子、葭原 明弘、大内 章嗣、黒川 孝一、小野 和宏、金子 昇、吉羽 永子、濃野 要、諏訪間 加奈、米澤 大輔、小田島 あゆ子、江口 香里、野中 由香莉、佐久間 英伸、大森 裕子、小林 亮太、吉村 将悟、朴沢 美生、儀同 真由美（病）、後藤 早苗（病）

開 講 番 号：250DA320

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生（編入学を除く。）

【科目の概要】

臨床歯科衛生に関する理解と実践のために、病院の外来において見学および実技に係わる実習を行う。

※歯科医師、歯科衛生士としての実務経験のある教員が、その経験を活かし、臨床の場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

4年次の臨床実習における歯科保健指導・歯科予防処置・歯科診療補助を効果的かつ円滑に行なうために、3年次前期までの学習と臨床の実践を統合し、医療者として必要な知識・技術・態度を習得する。

【学習の到達目標】

- ・診療科の診療の手順を説明する。
- ・診療科の診療に必要な器具・器材を列挙する。
- ・診療科の診療の歯科診療補助内容を説明する。
- ・診療科の診療システムについて説明する。
- ・診療科の診療環境および器材等の配置を述べる。
- ・患者と適切にコミュニケーションをとる。
- ・多職種と適切にコミュニケーションをとる。
- ・患者の医療ニーズを把握する。
- ・診療または処置に必要な情報を収集する。
- ・診療または処置において収集した情報から診療・処置の準備を行う。
- ・診療または処置において収集した情報から診療補助・処置を実施する。

【授業の実施形態について】

講義・基礎実習と臨床との統合を目的として、臨床における知識・技術の習得に加え医療従事者に求められる実践能力、倫理観およびコミュニケーション能力を養成するために、医歯学総合病院の9診療科（各3日間）において実習を行う。

【登録のための条件（注意）】

4年次臨床実習の予備実習となるため、9診療科3日間の実習を必須とする。体調不良等により欠席した場合は、予備日および補講可能日から代替実習日を選択し当該診療科の担当教員、病院歯科外来ブロック長歯科衛生士、本学科担当教員にメール連絡うえ、実習を行う。

【授業計画】

回	日時	講義内容（担当）	授業時間外の学修
1	10/2（木）1-2限	歯科外来診療科における臨床実習のオリエンテーション（歯科外来診療科：予防歯科、歯周病科、お口の健康室、歯の診療科、冠・ブリッジ診療科、義歯診療科、小児歯科、矯正歯科、口腔外科、看護部、歯科衛生部門）	詳細は実習要綱および講義資料に沿って、初回オリエンテーション時に指示する。
2	10/6-1/29（月・木、祝日・冬期休業除く）1-2限	9診療科において各3日間、実習	各診療科の準備学修として、下記テキストおよび実習要綱の要点を確認する。[予防歯科、歯周病科、お口の健康室] テキスト予/保Ⅲ-Ⅳ編テキスト歯周Ⅱ1章編①-③、5章①-④・⑥、Ⅲ編1章①-④・⑥-⑧ [歯の診療室] テキスト保存Ⅱ-Ⅲ編 [冠・ブリッジ/義歯 診療科] テキスト補綴Ⅱ-Ⅲ編 [小児歯科] テキスト小児Ⅱ-Ⅲ編テキスト障歯2-6章 [口腔外科] テキスト口外Ⅲ編 [矯正歯科] テキスト矯正Ⅱ-Ⅲ編 [9診療科] テキスト補助Ⅰ編2-5章、Ⅱ編1章
3	2/2（月）1-2限	実習調整日	各診療科の事前学習用テキストおよび実習要綱の要点確認
4	2/5（木）1-2限	実習調整日	各診療科の事前学習用テキストおよび実習要綱の要点確認

【成績評価の方法と基準】

診療科の実習担当者による臨床実習日誌（体験レポート）に基づく臨床実習の課題評価（100%）により評価する。

【使用テキスト】

- 「歯科衛生士シリーズ 歯科予防処置論・歯科保健指導論（第2版）」医歯薬出版（8,300円）：予/保
- 「歯科衛生士シリーズ 小児歯科学」医歯薬出版（3,400円）：小児
- 「歯科衛生士シリーズ 歯科補綴学」医歯薬出版（3,400円）：補綴
- 「歯科衛生士シリーズ 口腔外科学・歯科麻酔学（第2版）」医歯薬出版（4,200円）：口外
- 「歯科衛生士シリーズ 歯周病学」医歯薬出版（3,500円）：歯周
- 「歯科衛生士シリーズ 歯科診療補助論（第2版）」医歯薬出版（6,800円）：補助
- 「歯科衛生士シリーズ 保存修復学・歯内療法学」医歯薬出版（4,300円）：保存
- 「歯科衛生士シリーズ 歯科矯正学（第2版）」医歯薬出版（3,600円）：矯正

【参考文献】

全国歯科衛生士教育協議会 監修「歯科衛生士シリーズ 障害者歯科学」医歯薬出版（2,400円）：障歯
 公益社団法人日本歯科衛生士会 監修「新歯科保健指導ハンドブックライフコースに沿った歯・口腔の健康づくりの展開に向けて」（3,800円）

科 目 名：社会福祉現場実習Ⅰ

担当教員名(所属)：中村 健、大内 章嗣、黒川 孝一、米澤 大輔、松本 明日香、神子島 旬子

開 講 番 号：250DA321

開 講 学 期：第2学期

水 準：14

単 位 数：2単位

対 象 学 部 等：歯学部口腔生命福祉学科3年生

【科目の概要】

「大学等において開講する社会福祉に関する科目の確認に係る指針」別表1「ソーシャルワーク実習」の「教育に含むべき事項」を含む内容の授業。

※社会福祉関係の実務経験のある教員が、その経験を活かし、社会福祉現場で実践できる内容の授業を行う。

【科目のねらい】

- ・社会福祉援助技術演習Ⅰ・Ⅱ及び社会福祉現場実習指導Ⅰの履修により学習したソーシャルワーク実践の前提となる態度(価値と倫理)、知識、技能を踏まえ、社会福祉現場実習(ソーシャルワーク実習、以下「実習」)を通して、それらを実践の場において活用することができる実践力を身に付ける。
- ・社会福祉士に求められる態度(価値と倫理)、知識、技能と自らの力量とを照合して自らの課題を分析、把握し、それらの課題に沿った実習を行うことにより、実践力を高める。
- ・関連分野の専門職との連携のあり方及びその具体的内容を実践的に理解する。

【学習の到達目標】

1. 利用者(特定ケース)等と人間関係を形成するための基本的なコミュニケーションをとることができる
2. 利用者(特定ケース)等との援助関係を形成することができる
3. 利用者(特定ケース)の権利擁護及びエンパワメントを含む実践を行い、評価することができる
4. 利用者(特定ケース)、グループ、地域住民等のアセスメントを実施し、ニーズを明確にすることができる
5. 実習先の地域アセスメントを実施し、地域の課題や問題解決に向けた目標を設定することができる
6. 利用者(特定ケース)の支援計画を作成・策定及び実施することができる
7. 利用者(特定ケース)の支援計画の実施をモニタリングおよび評価することができる
8. 実習先の各職種の機能と役割を説明することができる
9. 実習先における関係する社会資源の機能と役割を説明することができる
10. 実習先の地域住民、関係者、関係機関等と連携・協働することができる
11. 実習指導者の指導のもとで、各種会議を企画・運営することができる
12. 地域社会における実習施設・機関等の役割を説明することができる
13. 実習先の地域住民や団体、施設、機関等に働きかける
14. 実習先の地域における分野横断的・業種横断的な社会資源について説明し、問題解決への活用や新たな開発を検討することができる
15. 実習先の経営理念や戦略を分析に基づいて説明することができる
16. 実習先の法的根拠、財政、運営方法等を説明することができる
17. 実習先における社会福祉士の倫理に基づいた実践及びジレンマ解決のプロセスを説明できる
18. 実習先の規則等について説明することができる
19. 以下の技術について目的、方法、留意点について説明することができる
 - ・アウトリーチ
 - ・ネットワーキング
 - ・コーディネート
 - ・ネゴシエーション
 - ・ファシリテーション
 - ・プレゼンテーション
 - ・ソーシャルアクション

【授業の実施形態について】

指定期間に、指定の実習先において、実時間60時間以上の実習を行う(原則として欠席は認めない)。実習先は、学生の意向などを踏まえて指定する。その他詳細は、担当教員および実習先の実習指導者の指示に従う。

【授業計画】

回	日時	講義内容(担当)	授業時間外の学修
1	11/14(金) 5限	オリエンテーション	「社会福祉現場実習指導Ⅰ」「社会福祉援助技術演習Ⅰ」の講義内容を復習。
2		指定期間に指定実習先機関・施設において実習	実習機関・施設・団体の実習指導者および実習担当教員の指示による。

【成績評価の方法と基準】

実習計画書、日誌、まとめなどの成果物（25%）、実習先機関・施設における評価（50%）、実習担当教員による個別評価（25%）により総合的に評価する。

【使用テキスト】

特定に指定しない。

【参考文献】

必要に応じて適時紹介する。